

三年の国語(下) おにたのぼうし「二〇二ページから二九ページ」までを読んで考えましょう。

- ① おにたは、どんなせいかくのおにですか。本文の言葉で書きましょう。
(気のいいおに) (はずかしがり屋)

- ② 豆まきの音を聞きながら、おにたが思っていることを書きましょう。

人間っておかしいな。(おには悪い) って、決めているんだから。おににも、(いろいろあるのにな)。

- ③ おにたはどんなうちがいいと考えてさがしていますか。

(豆) () のにおいがしないうち
(ひいらぎ) もかざってないうち

- ④ 女の子は、「いいえ、すいてないわ。」と言いました。それは、なぜでしょう。
病気の(お母さん) に心配をかけたくないから。

- ⑤ 女の子は、何を食べたと言いましたか。
知らない男の子が持ってきてくれた
あったかい(赤ごはん) と(うぐいす豆)

- ⑥ 「おにたは、せなかがむずむずするようで、じっとしていられなくなりました。」
それはなぜでしょう。

ア 女の子がうそをついたことにはらを立てたから。
イ 女の子がおなかいっぱいと知ってほっとしたから。
ウ 女の子の話していることが何だかおかしいと感じたから。

- ⑦ 寒い外へ飛び出していったおにたは、どんなかつこうでもどつてきましたか。
雪まみれの(麦わらぼうしを深く) かぶって、
ふきんをかけた(おぼんのような物) を持ってもどつてきた。

- ⑧ 女の子はびつくりして、もじもじしました。なぜでしょう。

ア 男の子のせが高かったから。
イ 自分の言った通りのことがおこったから。
ウ 雪がふっていたから

⑨ 女の子の顔が、ぱつと明るくなったのは、なぜでしょう。

ア おにたが、赤ごはんとに豆しか持つてきてくれなくてがっかりしたから。
イ おなががすいていることを知られてはずかしいから。

ウ おにたが、おいしそうな赤ごはんとに豆をもつてきてくれてうれしかったから。

⑩ おにたが、とび上がったのは、なぜですか。

女の子が、「**あたしも、豆まき、したいなあ。**」と言ったから。

⑪ 女の子が豆まきをしたいと言ったのは、なぜですか。

おにが来れば、お母さんの病気が**(悪くなる)** と思ったから。」

⑫ 「おにだっているいろいろあるのに。おにだつて、……。」「のところで、おにたは、何と言いたかったのでしょうか。

ア いい人ばかりだよ。

イ 悪い人ばかりではないよ。

ウ 悪い人ばかりだよ。

⑬ おにたは、どのようにいなくなりましたか。

まるで**(氷がとけた)** ように、急にいなくなつた。

⑭ おにたはどうなつたのでしょうか。どうして消えたのでしょうか。「神様だわ」と言った女の子の言葉を聞いていたとしたら、おにたは、どう思ったのでしょうか。おにたの気持ちを想像して、おにたに手紙を書きましよう。

⑮ 次の言い方は、どのような気持ちを表しているでしょう。

○とび上がりました↓**女の子の言ったことに強くおどろいた気持ち**

○きよろきよろ見回す↓**人間に見つからないうちに早く家の中に入りたいたい気持ち**

○くちびるをかむ↓**お母さんに心配かけないようにがまんしている気持ち**

○ため息をつく↓**お母さんが安心してまたねむつたので、ほつとした気持ち**

○もじもじする↓**もらえるのかなと思つてうれしい気持ち**